

中国における幼稚園教材の実態

—農村部と都市部の幼稚園教材の比較から—

大学院人間文化創成科学研究科
人間発達科学専攻 D2 蘆 中潔

1. 要約

(和文)

本研究は上海市と青海省、甘肅省を中心に、国家と地方、都市部と農村部という枠組みで中国政府の教育政策と関連させながら、教育現場において幼稚園教材がどのように使用されているのか、その使用実態を全面的に調査することを目的としている。

本調査では幼稚園、政府部門、出版社、研究機関（大学）、図書館という5つの種類の機関を調査対象にする。中国では、教育部に所管され、3から6歳児を対象とする就学前の教育施設を幼稚園という。具体的に、教材や政府文書の収集以外に、各機関の見学と調査先の担当者に対する聞き取り調査も行った。調査先に対し、青海省人民政府機関幼稚園（都市部）、青海省民和回族自治州銀河芸術幼稚園（農村部）、甘肅省保育院（都市部）、甘肅省海石湾鎮楽堡堡幼稚園（農村部）が対象幼稚園となる。また、甘肅省蘭州市教育局就学前教育担当部門、復旦大学出版社、西北師範大学就学前教育学科（甘肅）、華東師範大学就学前教育学科（上海市）、復旦大学大学院（上海）を訪問し、就学前教育の担当者と話し合いを行い、資料収集を行った。

調査の結果として、異なる種類の幼稚園における教材の使い方、出版社の教材に対する出版の方針、大学の教材研究の現状と新たな動向を明らかにした。さらに、教育の公平性を保つために、政府が就学前教育の質を向上させるための補助金政策とモデル幼稚園¹が果たす役割が大きいことが調査で示された。これから調査で得た思慮に基づき、各地の教材を分析し、比較することを課題にしていきたい。

(英文)

This study aims to research the difference in the usage of kindergarten teaching materials between urban and rural areas. The kindergartens in Shanghai, Qinghai and Gansu are focused and compared by the educational policy of China. The objects of this research are 2 urban area kindergartens, 2 rural area kindergartens, 1 province government department, 1 publisher and 3 universities. The research methods are interviewing with above targets and collecting kindergarten teaching materials and government documents.

As results, the usages of teaching materials in different kindergartens, the policies of publishers, and the trends of teaching materials researches at the universities have become clear. Furthermore, this study shows an important role of government subsidy and model kindergartens in order to improve the equality of preschool education. To analyze and to compare the data obtained from this research will be an issue to be addressed in the future.

2. 現地調査期間： 2017年8月2日（水）～2017年8月31日（木）

3. 調査背景

OECDのStarting Strong等で女性の社会進出と幼児の教育とケアへの関心が高まっている。1990年、中国は日本より早く国連の協力で、『児童宣言』を発効した。世界で幼児教育の普及に力が入られるようになっていく中で、中国では幼児教育の普及を進める上で、特に農村幼稚園の衛生、安全、教師の研修等の面における改善を目指し、「質の高い」幼児教育への関心が高まってきている。中国第六次国勢調査（2010）では、中国の児童（0～6歳）人口は1.3億人以上となり、世界児童人口の五分之一を占める。その内、55%の児童は農村地域にいる。2015年、中国の平均入園率は75.0%となり、特に上海の入園率は98%以上に上った。2010年に、農村地域の就学前1年間の就学前教育が70%まで普及し、幼児の就学前教育を受ける機会がある程度確保されるようになってきている。近年、教育における不平等を是正する対策として、「質の高い就学前教育」、特に「質の高い農村における就学前教育」が中央政府によって提唱された。

近年、中国では経済的な格差が劇的なだけでなく、教育水準では甚大は「城郷」（都市と農村部）格差が形成された。2015年、上海と北京の平均入園率は95%以上に上るのに対し、中国の農村地域における就学前3年間の平均入園率は30.1%に留まる。中国ではすべての幼稚園で幼稚園教材が使用されている。幼稚園教材はすべての教師と家族に配布されることが前提とされ、「幼児の取りやすい場所に展示し、幼児が自由に使用すること」を促すなど、幼児の閲覧を保証することが求められている。さらに、教材は休み期間中に、幼児の実態に基づき、適切な内容を選び家族で使用することが可能となるように工夫されている（蘆2017、pp.50-53）。幼稚園教材は数多くの幼児に影響を与えるが、中国の幼稚園教材は全国的に統一されておらず、調査する必要が考えられる。

4. 研究目的

幼稚園教材は国の法律に依拠し作成され、国の教育方針を反映する手掛かりであると同時に、教育の質を規定する要因の一つだと考えられる。しかし、中国では全国範囲の幼稚園教材の活用状況に対し、国家レベルの調査が行われていない。地域間差に着目する幼児

園教材に関する研究も限られている。中国国内における地域差は大きく、例えば、2016年の「中国人類発展報告」では省レベルの人間開発指数（HDI）によると、上海市のHDI値は0.84以上で、青海省と甘肅省は0.7以下である。そこで、本研究では、上海市と青海省、甘肅省のモデル園を中心に、国家と地方の教育政策を関連させながら、それぞれ使用されている教材のどこが異なっているのか、また幼稚園の教育現場ではそれらがどのように使用されているのかその使用実態の相違を調査することを目的としている。

5. 調査方法

本調査では幼稚園、政府部門、出版社、研究機関（大学）、図書館という5つの機関を調査対象にし、教材や政府文書の収集以外に、各機関の見学と調査先の担当者に対する聞き取り調査を行った。青海省では、都市部は青海省人民政府機関幼稚園、農村部は民和回族自治州銀河芸術幼稚園という2つの園、甘肅省では、都市部は甘肅省保育院、農村部は海石湾鎮の楽堡堡幼稚園という2つの園を訪問した。幼稚園を訪問した際に、教材資料室と園全体を見学する以外に、授業の様子を観察し、最後に園長先生、担任の先生と話し合いを行った。政府部門では、甘肅省蘭州市教育局就学前教育担当部門を訪問し、文書収集に関し担当係員から情報を得た。また、復旦大学出版社を訪問し、就学前教育教材担当の係員から情報を収集した。研究機関について、西北師範大学就学前教育学科（甘肅）、華東師範大学就学前教育学科（上海市）、復旦大学大学院（上海）を訪問し、就学前教育専門の大学教員と話し合いを行い、各大学の大学図書館で研究論文など文献を収集する作業を行った。さらに、調査地の県立図書館において、文書や文献を収集した。

表 1. 幼稚園に関する調査情報

調査地	調査期間	種類	所在地	設立	幼稚園教材	調査の担当者
青海省人民政府機関幼稚園	2017.8.3 – 8.4	公立幼稚園	青海省西寧市	1985	園の開発教材『養成教育』	園長
民和回族自治州銀河芸術幼稚園	2017.8.23 – 8.24	私立営利型幼稚園	青海省西寧市民和回族自治州	2016	香港の教材『知識の海洋』（海燕出版社）を導入	園長
甘肅省保育院	2017.8.9 – 8.10	公立幼稚園	甘肅省蘭州市	1949	北京師範大学出版社の教材（甘肅省）と園の開発教材『甘肅省模範幼稚園科学保教実験課程』と併用	年長クラスの担任

楽堡堡幼稚園	2017.8.21 – 8.22	私立サ ービス 型幼児 園	甘肅省 蘭州市 海石湾 鎮	2012	政府指定教材：北京師範大学出版社教材（甘肅版）	年長クラスの担任
--------	---------------------	------------------------	------------------------	------	-------------------------	----------

出典：調査資料に基づき、筆者作成

6. 調査結果

(1) 甘肅省の事例

甘肅省は中国の西北地域における黄土高原に位置しており、面積は 45.37 平方 km で、中国領土の 4.72% を占める。2016 年の居住人口は 2606.95 万人に上る。蘭州は甘肅省の省庁所在地で、人口は 369.31 万人である。省内には少数民族も多く居住しており、臨夏回族自治州と甘南チベット族自治州は回族とチベット族の自治州である。図 1 から見られるように、2015 年甘肅省の一人当たり可処分所得は全国で二番目に低く、第一位の上海市と大きな差が呈されている。

① 甘肅省保育院（公立）

調査地の甘肅省保育院は蘭州市城関区（中心部）に位置している。1949 年 8 月に、新中国が成立した直後に政府によって設立され、甘肅省において最も歴史の長い公立幼稚園である。現在は甘肅省教育庁に属し、甘肅省の中で最も早く政府から省レベルモデル幼稚園として認定された園である。甘肅省保育院には 22 のクラスが設置され、1000 名以上の園児がいる。幼稚園教師の人数は 122 人で、すべての教員は幼稚園教師資格を持っており、そのうち一級教師²は 51 人に上る。省のモデル幼稚園として、甘肅省保育院は甘肅省政府によって「教育科学研究の模範期間」（教育科研先进单位）、「甘肅省幼稚園教師の研修基地」（甘肅省幼儿教师实训基地）、「農村教師の研修基地」（乡村教师研训基地）として認可されている。

幼稚園の一学期の保育料は 2900 元（50,190 円相当）で、給食費と教材費は含まれている（図 2）。幼稚園教材は「集団教育」（写真 2）と「エリア活動」の時間で使われる（表 2）。「集団教育」の時間において、教材は教師の指導を受け、黒板などほかの教具と一緒に幼児によって使われるが、「エリア活動」において幼児の自由活動が保証される前提で幼児が自発的に教材を読むことになる。幼児がエリア活動の参加する際に、教材以外に、図工材料、人形は絵本などもエリアごとに用意されている。この園の場合、年長クラスは毎日少なくとも 40 分間の教材使用時間が保証されている（表 2）。使用された教材は北京師範大学出版社の教材『幼稚園快樂と發展課程（甘肅 A 版）』（以下『甘肅 A 版』と略す）以外に、園の開発教材『甘肅省模範幼稚園科保教実験課程』（以下『実験課程』と略す）もある。『甘肅 A 版』は、甘肅省基礎教育課程教育センターが北京師範大学出版社の教材『幼稚園快樂と發展課程』をベースに、甘肅省の状況に合わせ、編集したもの

である。A と B という 2 つの版が出版されるが、A 版は都市部向けの教材で、B 版は農村部向けの教材となる。甘肅保育院の場合、『(甘肅 A 版)』は補助的に使われているが、メインな教材は『実験課程』である。『実験課程』は甘肅保育院の園長をはじめ、園の研究チームと各学年の担任の先生の協力で編集したものである。『実験課程』は甘肅省保育院だけでなく、省内の農村部幼稚園においても広く利用され、省モデル園の機能が発揮された。



写真 1. 甘肅省保育園



写真 2. 年長クラスの集団教育の様子
(甘肅省保育園)

② 楽堡堡幼稚園 (私立サービス型園)

楽堡堡幼稚園は 2016 年に新設され、甘肅省蘭州市紅古区海石湾鎮にある。海石湾鎮は 3 つの村 (行政単位) から構成され、総人口は 35,240 人である。近年の海石湾鎮の経済的発展は速く、農村人口の収入は急増し、「蘭州市における十大強鎮」の一つとして政府に評価された。楽堡堡幼稚園は海石湾鎮の住宅街にあり、全部で 12 のクラスがあり、420 名の園児がいる。幼稚園教師は 47 人で、全員専門学校 (短大) およびそれ以上の学校から卒業し、幼稚園教師の資格を持っている。物理的な環境の面において、すべての教室には電子ピアノ、プロジェクター、楽器、パソコン等が設置されている。幼児用教材はクラスの本棚に置かれ (写真 3 の中央)、教師用教材は教材室 (写真 4 の左) に置かれている。教材室は教師研究室としても活用されているため、教師の研修ノート、すべての教員の教案も置かれている。

楽堡堡幼稚園の保育料は一学期 4300 元であり、給食費と教材費も含まれている。公立園よりやや高い (図 2)。教材は政府に指定された『幼稚園快樂と發展課程 (甘肅 B 版)』 (以下『(甘肅 B 版)』と略す) である。教材は「集団教育」の時間で使用する。表 4 によると、年長クラスは毎回 3 回の集団教育が行われ、一日に 90 分から 105 分となり、甘肅省保育院の 40 分より倍以上長い。『(甘肅 B 版)』は甘肅省政府が甘肅省の農村地域に向けて指定した教材なため、農村地域の就学前教育の質保証の一貫として、教材の使用等に関する研修も政府によって無料で実施される。楽堡堡幼稚園は園の代表の先生 (園

長と研究グループの先生の場合が多いが) を毎回政府が開催した研修会に派遣している。その後、研修の内容を園の教師に伝えるための園内研修会議も開かれる。

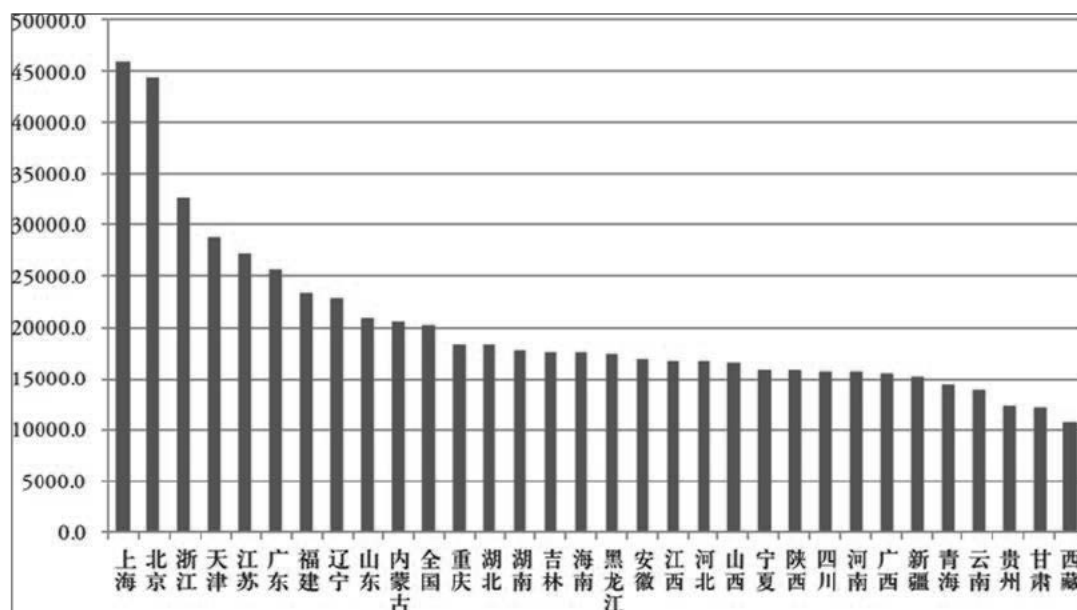


写真3. 楽堡堡幼稚園年長クラスの教室



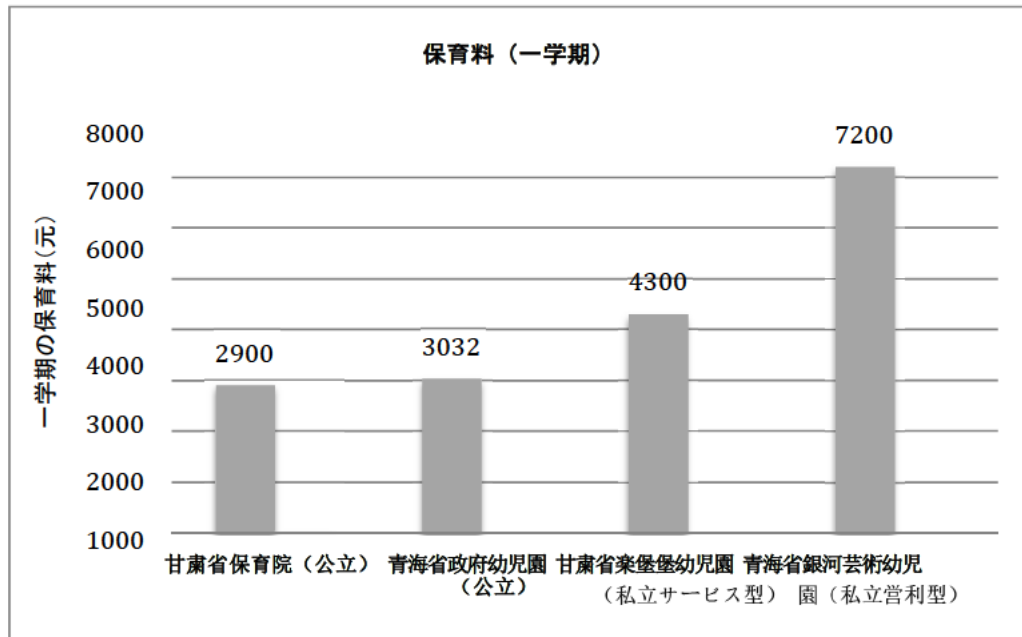
写真4. 楽堡堡幼稚園の教材室・教師研修室

図1. 2014年中国における各県の一人当たり可処分所得（元：一元は17円相当）



出典：『2015年中国統計年鑑』（中国国家统计局公式：<http://www.stats.gov.cn/tjsj/ndsj/>）より抜粋

図2. 各幼児園の保育料（一学期。給食費教材費含む）



出典：調査資料に基づき筆者作成

注：調査先の幼児園の場合、一学期は4ヶ月半となる。甘肅省保育院と樂堡堡幼兒園の保育料は甘肅省政府の補助金を引いたものになる。また中国元の1元は約17円である。

（2）事例 - 青海省の幼稚園

青海省は中国の西北地域のチベット高原に位置し、面積は72.1万平方kmで、中国で三番目に大きな県である。2016年の人口は593.46万人で、甘肅省の5分の1である。そのうち、農村の人口は全省の49.7%で、全省の貧困人口は52万人に上る。図1において、2014年の青海省の一人当たり可処分所得は甘肅省よりやや高いが、依然として全国では低いランクにある。また、青海省には回族、チベット族、土族をはじめとする46の少数民族が居住しており、少数民族自治州は6つ設置されている。青海省の面積は広いが、6つの自治州以外に、3つの市しかない。西寧市はその一つで、青海省の省庁所在地で、人口は233.37万人（2016）である。

① 青海省人民政府機関幼兒園（公立）

青海省人民政府機関幼兒園は1985年に青海省人民政府によって設立された公立幼兒園である。園は15のクラスからなり、450名以上の幼児がいる。青海省人民政府機関幼兒園は青海省の省レベルモデル園と認定され、「全国における教育研究の優秀機関」の他に、「青海師範大学の実習基地」、「西寧市第一職業専門学校における保育学生の実習基地」とされ、青海省の保育学生の実習先としてモデル園の役割を担っている。さらに「PHE 就学前教育改革プロジェクトの実践基地」と政府に認定され、就学前教育の改革が実験的に

行われ、省内における教育改革の成果と動向が最も早く園に反映される。そして、改革の成果を私立と公立を問わず、省内の幼稚園、特に農村地域の幼稚園に伝え、吸収させることが課されている。

園が独自に開発した教材、『養成教育』（写真6）は2015年に出版された。主要編集者は園長の張秀汝で、各学年の担任及び研究グループの教員は教材の編集委員である。事例（1）の園と同じように、教材は「集団教育」の時間で使用される。表3によると、青海省人民政府機関幼稚園の年長クラスでは一日2回、全部で1時間の集団教育が行われる。2015年に園独自の教材が開発された背景には、「青海省にはまだ独自に教材を開発できる園は少ない。私たちモデル幼稚園であっても、2015年以前は北京や上海の教材を導入していた。そして近年政府からの支援を受け、園内のカリキュラムを改革してきた。北京等の教材を導入し、そしてローカル化するより、自分の教材を計画し、開発することがやっとできた。でも課題が多く、まだ模索中だ」と園長は語った。

具体的に、青海省人民政府機関幼稚園のカリキュラム改革は3つの段階を経た。2007年から2012年は第一段階で、幼稚園の小学校化を批判し、遊びの重視という改革の理念を打ち出した。同時に研究グループが形成され、カリキュラムの初期モデルが作られた。2012年から2015年は改革の第二段階に入るが、改革理念が深化され、室内遊びと外遊びの循環型カリキュラムが編成された。さらにこの段階ではニュージーランドの「ラーニングストーリー」という児童評価の方法が導入された。2015年から2018年は第三段階だが、今まで編成されたカリキュラムの実験期となる。そしてモデル園として、実験後のカリキュラムを姉妹園と農村部の幼稚園に共有することが目標とされた。このように、就学前教育の発展が進んでいるとは言えない青海省では、政府の援助、公立モデル園が果たす役割は大きい。



写真5. 幼稚園教員室に飾る共産党紹介のポスター



写真6. 幼稚園の開発教材『養成教育』と『栄養レシピ』

注：ポスターには党員の権利と義務、党員基準などが書かれている。

② 民和回族自治州銀河芸術幼稚園

民和回族自治州は青海省の東に位置しており、人口は42.13万（2014）である。そのうち、農村戸籍の人口は33.58万人で、総人口の79.7%を占める。銀河芸術幼稚園は2016年に設立され、モンテソリーの思想をベースにした私立営利型幼稚園である。現在は260名の幼児と26名の幼稚園教師がおり、全員が幼稚園教師の資格を持っている。銀河芸術幼稚園の保育料は一学期7200円で、調査対象の園の中では最も高い（図2）。すべての教室は「数学領域」、「日常生活領域」、「感覚・五感領域」と「科学文化領域」という4つの教育内容の領域に基づき、教室はエリアごとに分けられている（写真7）。教室内の配置において、各領域の教育活動に必要な教具（教材、そろばん、地図、地球儀等）以外に、ベッド、木製ロッカー、ホワイトボードも用意されている。写真7のように、幼児が各領域の教育内容により集中できるように、それぞれのエリアに多くの教具、机1台と椅子6脚が準備されている。

銀河芸術幼稚園は香港の教育会社（新世紀会社）が開発した幼稚園教材、『知識の海洋』（海燕出版社）を導入し、「集団教育」の時間に幼児が使用する。一回の集団教育は60分間で、前半の20分間は教師が教育内容の指導を行い、後半の40分間は幼児が各自、課題に取り組む。この園の場合、年少クラスは「日常生活領域」と「感覚・五感領域」に、年長クラスでは「数学領域」と「科学文化領域」に多くの時間が配分されている。担任によると、年長クラスの幼児は一日に少なくとも2時間の「集団教育」が確保されている。



写真7. 年長クラス教室の「数学領域」エリア



写真8. 年長クラス教室の「集団教育」（数学領域）の様子

表 2. 甘肅省保育院年長クラス時間割

7:50-8:20	登園、朝の活動
8:20-8:50	朝ご飯
8:50-9:00	活動前の準備
9:00-9:40	集団教育
9:40-10:00	体操
10:00-11:00	エリア活動
11:00-11:10	お手洗い
11:10-11:30	食前の活動（ゲーム、話し合い等）
11:30-12:20	散歩
12:20-14:10	午睡
14:10-14:20	起床
14:20-14:30	お手洗い
14:30-14:50	午後のデザート
14:50- 15:20	グループ活動、特色活動
15:20-15:30	お手洗い
15:30-16:30	室外活動
16:30-16:40	お手洗い、食前の準備
16:40-17:20	晩ご飯
17:20-18:00	帰宅

表 3. 青海省人民政府機関年長クラス時間割

7:50-8:40	登園、朝の読書、朝ご飯の準備
8:40-9:10	朝ご飯、お手洗い、片付け
9:10-9:15	朝の会話（安全教育、マナー教育）
9:20-9:50	集団教育
9:50-10:20	体育活動（体操など）
10:30-11:00	集団教育
11:10-11:40	昼ご飯
11:40-12:10	散歩（縄ゲーム等）
12:10-14:10	午睡
14:10-15:00	起床（水を飲む）、室外活動
15:00-15:20	遊び
15:20-15:30	お手洗い、おやつ準備
15:30-15:50	午後のデザート
16:00-16:20	遊び
16:20-18:30	グループ活動（図工）、帰宅準備

表 4. 樂堡堡幼稚園年長クラス時間割

8:20-12:00	集団教育二回、体操20分間、その他
12:20-14:10	午睡
14:20-17:30	集団教育一回、体育60分間、その他

注：集団教育は一回 30～35 分になる。「他」は陶芸、布染め、囲碁、パフォーマンス、ご飯の時間を指す。

(3) 上海における幼児園教材の実態 - 研究機関と教材出版社への調査に基づいて

① 研究機関 (大学)

本調査は西北師範大学修が学前教育学科(甘肅)、華東師範大学就学前教育学科(上海市)、復旦大学大学院(上海)を訪問し、大学図書館で資料を収集すると同時に、西北師範大学就学前教育学科主任の鄭啓教授、華東師範大学就学前教育学科の劉曉東教授、復旦大学大学院青少年教育専門の童連講師と話し合い、情報を得た。この3つの大学は甘肅省と上海市政府の就学前教育の発展を促すシンクタンク機関であり、中国教育部に属している国立重点大学である。

西北師範大学(甘肅)と華東師範大学は保育学生の養成機関であり、就学前教育を専門とする学生は中国の「無料師範学生制度」(「定向免費培洋養師範生」)³の支援対象となることができる。西北師範大学は独自に開発した幼児園教材、「幼児園総合教育活動」は2011年に蘭州大学出版社で出版され、鄭啓教授は教材の主要編集者となる。この教材は甘肅省の指定幼児園教材とされていないが、西北師範大学の援助対象の農村幼児園と省内のモデル幼児園に無償で提供している。華東師範大学と復旦大学は近年、3から6歳児を対象とする幼児園教育だけではなく、0から3歳児の保育に関する研究と国家レベルの推進プロジェクト(国家十三五計画)に取り組んでいる。中国にはまだ日本のような0から3歳児を預ける保育施設はないため、0から3歳児保育の教員養成体系および養成機関で使われる大学生教科書の開発が両大学の目標とされている。その背景には、上海市政府が2008年に公布した『0から3歳幼児教育方案』は0から3歳児の保育が推進されるきっかけとなる。こういった0から3歳児保育への傾きは教材出版社のマーケティングにも反映されている。

② 復旦大学出版社

復旦大学出版社は1981年復旦大学によって設立され、教育部と上海市新聞出版局の管理を受けている。復旦大学出版社就学前教育分社(写真9)は2004年に設立され、各種の教材の出版がメインとなる。読者の70%は就学前教育の専門を持つ大学、専門大学、20%は全国の幼児園、10%は保護者などの個人である。教材の著者の50%は復旦大学の教員であるが、北京大学やハーバード大学などの名門大学の教員と、就学前教育専門を持つ師範大学、専門学校の教員からなる。2017年、復旦大学出版社就学前教育分社の教材の売り上げは全国一位である。

本調査では就学前教育分社の編集者の二人から情報を得た。就学前教育の専門を持つ大学、専門大学の教材担当から注文があり、販売を行っている。幼児園教材の場合、幼児園からの直接注文はあるが、毎月の出版社書展でも幼児園教材が宣伝されている。他に、2009年から復旦大学出版社が主催しはじめた全国就学前教育シンポジウムにおける宣伝にも力が入れている。就学前教育分社で出版された幼児園教材のカリキュラムは「領域別」⁴だが、「復旦大学には理系の研究者が多いため、科学領域の幼児園教材に最も力を入れて」

おり、「近年、韓国から数学の幼児園教材も導入した」と編集者が言った。このように、復旦大学出版社就学前教育分社や幼児園教材を編集し、出版する際には、科学領域に重点を置く方針を取っていることがわかった。一方、華東師範大学と復旦大学と同じように「2010年以前は3～6歳児を対象とする幼児園教材と子育ての書籍がメインだが、2010年以降になると私たちの出版社はその中心を0～3歳児保育においた」と就学前教育分社の編集者が近年の動向について語った。



写真 9. 復旦大学出版社就学前教育分社



写真 10. 農村地域での『甘肅省 B 版』教材の研修会

注：研修会の開催地は甘肅省張家峽市山丹県である。

7. 考察

(1) 中国の幼児園の分類制度

中国の幼児園は公立幼児園と私立幼児園に大きく分類することができる。公立園の中には教育部園、集団園、部門園がある。教育部園は政府の教育関係部門によって設立され、幼児園に関する一切の財産は教育部管に属し、すべての費用を政府から受ける園のことである。教育部園の園長は教育部から直接任命される。調査対象の甘肅省保育院と青海省人民政府機関園は教育部園である。また、村、区およびそれ以下の行政単位に設立され、園に関するすべての財産と費用はある行政集団によって提供される場合は、集団園と呼ばれる。部門園は、ある政府部門、国家企業あるいは軍隊によって設立された園である。これらの部門は園のすべての人事権を持ち、すべての運営費用を負担する。

私立幼児園には営利型私立幼児園とサービス型私立幼児園がある。2017年中央政府が公表した「営利型民間幼児園に関する監督と管理の細則」によると、営利型幼児園は幼児園用地や関連の税金を支払い、自ら園の学費を定め、園の収益を上げることができる。対照的に、サービス型私立幼児園は用地費用と土地使用税等が免除され、園の運営経費の補助金が政府によって援助されているが、園の収益は法人が有することはできず、園の発展に還元すること、政府が定めた学費標準に準じる等の条件がつけられている。ただし、私立サービス型幼児園が評定される際には、国家レベルの法律と省レベルの評定方法に準じることとなる。

(2) 甘肅省における就学前教育の質向上対策：甘肅省教育局就学前教育部門への調査に基づいて

甘肅省政府は貧困解消を近年の目標と挙げており、特に就学前教育の「質向上」を求めするために、2017年に甘肅省は「就学前三年間保育料免除政策」が中国ではじめて実現するようになった省である。

2015年からは就学前一年間、1000元分の保育料が免除されていたが、2017年からは3年間分の保育料が免除され、特に58の貧困県における貧困児童にさらに1000元分の補助金が増えられた。2015年甘肅省が就学前教育に支出する経費は17.28億元に上り、省の入園率は2011年の42%から75%に改善された。免除政策の対象は公立園に在席する甘肅省出身の幼児だけではなく、私立サービス型幼児園も援助される。2015年から現在まで、62万人の幼児が保育料免除の援助を受けた。

就学前教育の質向上を実現するために、政府の補助金だけではなく、モデル園⁵が果たす役割も大きい。中国では、モデル園が使用している幼児園教材は省の教育部門によって省内のすべての幼児園に推薦される傾向がある。特に貧困地域の幼児園教材は政府によって指定される傾向がある。この政策の背後には中国中央教育研究所(2002)が「質の高い農村における就学前教育」といったコンセプトを提唱したことがある。写真10は甘肅省における農村地域の指定教材のための研修会の様子である。調査地の甘肅省保育院は省レベルのモデル幼児園として省内の多くを支援している。甘肅省教育庁が指定した貧困援助先(隴南、岷県、文県、水車湾等)の幼児園に研究成果、運営体制や幼児園の先進的理念の共有、幼児園教材を含む教具と教育経費の寄付が行われている。さらに、優秀教師の交換プロジェクト、共同研究、お互いの事業観察と事業評価、テレビ会議による指導等も実施されている。甘肅省保育院の担当者によると、「近年、インターネットの活用に伴い、遠隔的な交流が頻繁になってきた。上から下へ、下から上への交流が改善されたが、横断的な交流、すなわち同じレベルの園と園の間の交流と研修はまだ少なく、これからの課題である」と語った。

8. 今後の研究への展望

本研究は上海市と青海省、甘肅省を中心に、中国政府の教育政策と関連させながら、幼児園において幼児園教材がどのように使用されているのか。またその使用実態に対し、政府部門、研究機関、出版社への調査を通じ、明らかにした。しかし、本調査では政府部門への訪問はできたのは甘肅省だけであり、上海市や青海省の政府部門への実地調査をしていきたい。それに、教材の使用状況だけではなく、教材の内容に対する分析と比較をこれからの課題にしたい。

9. 注

1. 『中国人民共和国教育制度』によれば、モデル幼稚園とは「教育方針を貫き、教育の原理を探り、経験をまとめ、共有すると言った面ではモデル機能を発揮し、一般幼稚園を補助する任務を有する園のことである。
2. 「中小幼稚園一級教師評定基準」における基本条件、学歴と資質条件、能力条件、業績条件、研究条件に準じる教師のこと。例えば、博士号を持つこと、2年以上の担任を担当すること、研究成果は市レベル以上の賞を取るなどが条件となる。
3. 「無料師範学生制度」は教育の公平性と教育の質を保証するために、中央政府が2007年から指定した師範大学で実施した制度である。指定された師範大学の入試に合格した学生は自ら志願して、大学、出身地教育部門に「師範学生無料教育協議書」の同意書契を提出し、卒業以降は幼小中学校で少なくとも10年間働く（都市部で働く卒業生は最初の2年間で農村部の教師になることは必要だが）ことを保証する。そしてこういった学生に政府は大学四年間の学費と寮費を免除し、毎月600元的生活費等を補助する以外に、就職の学校を保証し、条件に準じた人に社会人大学院の入学資格を与えるなどの優遇政策を施す。
4. 『幼稚園教育指導綱要』における「健康」、「社会」、「言語」、「科学」、「芸術」という5つの領域を指す。
5. 各省はモデル幼稚園を評定するための基準を持っている。幼稚園のクラス規模、設備、園長、教師の資格と教員の配置と待遇と経費等の面からモデル園かどうかを評定する。

10. 参考文献

- 甘肅省公式「甘肅紹介」、「甘肅省データ公開」、「経済発展」<http://www.gansu.gov.cn/>
(2017/9/21 アクセス)
- 甘肅省教育庁公式「就学前教育」<http://www.gsedu.cn/> (2017/9/21 アクセス)
- 蘆中潔 (2017) 「中国の幼稚園教材」『幼児の教育』第116巻、第3号、pp.50 - 53
- 青海省教育庁公式「基礎教育」<http://www.qhedu.cn/> (2017/9/21 アクセス)
- 青海省人民政府公式「青海概況」<http://www.qh.gov.cn/> (2017/9/21 アクセス)
- 中国教育部公式「基礎教育司」<http://moe.gov.cn/> (2017/9/21 アクセス)
- 中国第六次国勢調査公式 <http://www.stats.gov.cn/tjsj/pcsj/rkpc/6rp/indexch.html>
(2017/9/21 アクセス)
- 中華人民共和国統計局編 (2015) 『2015 中国統計年鑑』中国統計出版社